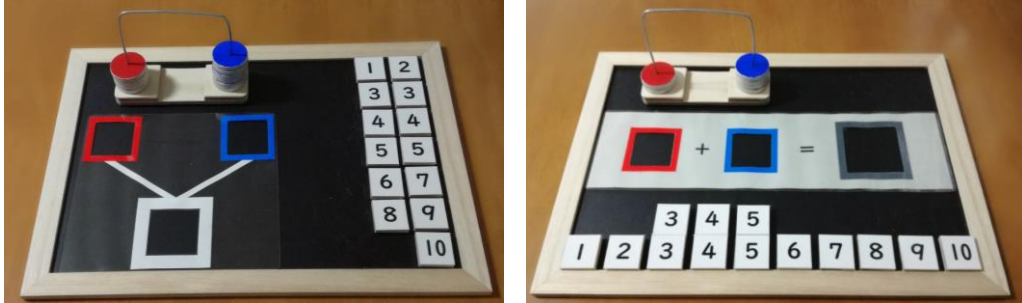


教材紹介カード	教科等	国語・算数	
教材名	10までの数の合成・分解	部門	知的障害教育部門
ねらい	<p>○10までの数の合成・分解ができる。【段階1】</p> <p>○数の合成を式に表したり読んだりすることができる。【段階2】</p> <p>○半具体物の操作を通して、数量の感覚を豊かにする。</p>		
写真			
指導内容・指導方法	<p>【段階1】</p> <p>①「赤はいくつ？」 赤チップを数えて数字を貼る。</p> <p>②「青はいくつ？」 青チップを数えて数字を貼る。</p> <p>③「合わせていくつ？」 数えながら中央に集めることで赤と青の和を確認できる。</p> <p>(段階1の10までの合成・分解を十分理解した上で、段階2に取り組む。)</p> <p>【段階2】</p> <p>①～③の手順で数の合成を式に表し、声に出して読む。</p> 		
特徴・留意点	<p>○半具体物と結びつけながら、数の合成・分解を量感をもって考えられる。</p> <p>○段階ごとにシートを差し換えて使用する。</p> <p>○少ない数の合成・分解から取り組む。</p> <p>○各段階で別途プリント学習等も並行して取り入れ、定着を図る。</p>		
材料・製作上のポイント	<p><材料> ベニヤ板、針金(太)、アクリル絵の具、イラストレーションボード、カバーフィルム、マグネットシート、ブラックボード</p> <p><製作上のポイント></p> <p>○チップの個数を増減できるように、針金は抜き差し可能にする。</p> <p>○チップの両面は異なる2色で塗る。</p> <p>○数字マグネットは操作しやすいように、イラストレーションボードを2枚重ねて厚みをつける。</p> <p>○シートは、数字マグネットを置く枠内を切り抜き、触覚へのフィードバックが大きくなるようにする。</p>		